

エフメノカプセル 100mg

【この薬は？】

販売名	エフメノカプセル 100mg F-meno capsules 100mg
一般名	プロゲステロン Progesterone
含有量 (1 カプセル中)	100mg

患者向医薬品ガイドについて

患者向医薬品ガイドは、患者の皆様や家族の方などに、医療用医薬品の正しい理解と、重大な副作用の早期発見などに役立てていただくために作成したものです。

したがって、この医薬品を使用するときに特に知っていただきたいことを、医療関係者向けに作成されている添付文書を基に、わかりやすく記載しています。

医薬品の使用による重大な副作用と考えられる場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

ご不明な点などありましたら、末尾に記載の「お問い合わせ先」にお尋ねください。

さらに詳しい情報として、PMDA ホームページ「医薬品に関する情報」
<https://www.pmda.go.jp/safety/info-services/drugs/0001.html> に添付文書情報が掲載されています。

【この薬の効果は？】

- ・この薬は、黄体ホルモン剤と呼ばれるグループに属する薬です。
- ・この薬は、更年期障害などに伴う症状を軽減する目的で卵胞ホルモンを投与する際、卵胞ホルモンによる子宮内膜への影響を軽減します。
- ・次の目的で処方されます。

更年期障害及び卵巣欠落症状に対する卵胞ホルモン剤投与時の子宮内膜増殖症の発症抑制

- ・この薬は、子宮のない人には投与しないこと。
- ・この薬は、自己判断して使用を中止したり、量を加減したりすると本来の効果が得られません。また、使用を中止すると不安や気分の変化などがあらわれることがあります。指示どおりに使用することが重要です。

【この薬を使う前に、確認すべきことは？】

○次の人は、この薬を使用することはできません。

- ・過去にエフメノカプセルに含まれる成分で過敏症のあった人
- ・診断がついていない性器出血のある人
- ・肝臓に重度の障害がある人
- ・乳がんの疑いがある人、または過去になったことがある人
- ・生殖器がんの疑いがある人、または過去になったことがある人
- ・血栓塞栓症や重度の血栓性静脈炎のある人、または過去にこれらの病気になったことがある人
- ・脳出血のある人
- ・ポルフィリン症の人

○次の人は、特に注意が必要です。使い始める前に医師または薬剤師に教えてください。

- ・てんかんがある人、または過去になったことがある人
- ・うつ病がある人、または過去になったことがある人
- ・片頭痛、喘息がある人、または過去にこれらの病気になったことがある人
- ・心臓に障害がある人
- ・糖尿病がある人
- ・血縁に乳がんになった人がいる人、乳房にしこりがある人、乳腺症がある人、又は乳房レントゲン像に異常がある人
- ・手術を予定している人、長い間安静状態の人
- ・腎臓に障害がある人
- ・肝臓に障害がある人
- ・授乳中の人

○この薬には併用を注意すべき薬があります。他の薬を使用している場合や、新たに使用する場合は、必ず医師または薬剤師に相談してください。

○この薬の使用前に乳房や婦人科検診（子宮内膜細胞診および超音波検査による子宮内膜厚の測定を含む）が行われます。

【この薬の使い方は？】

●使用量および回数

飲む量は、あなたの症状などにあわせて、医師が決めます。

通常、成人の飲む量および回数は、次のとおりです。

飲み方は下記のいずれかの方法が医師によって選択されます。

- ・卵胞ホルモン剤の投与開始日から1日1回1カプセルを就寝前に飲みます。
- ・卵胞ホルモン剤の投与開始日を1日目として、卵胞ホルモン剤の投与15日目から28日目まで1日1回2カプセルを就寝前に飲みます。29日目から同様の方法で、繰り返し飲みます。

●どのように飲むか？

コップ1杯程度の水またはぬるま湯で飲んでください。

●飲み忘れた場合の対応

決して2回分を一度に飲まないでください。飲み忘れた場合は、飲み忘れた分は服用せず、次の就寝前に1回分を飲んでください。

●多く使用した時（過量使用時）の対応

異常を感じたら医師または薬剤師に相談してください。

【この薬の使用中に気をつけなければならないことは？】

- ・定期的に乳房検診ならびに婦人科検診（子宮内膜細胞診および超音波検査による子宮内膜厚の測定を含む）が行われます。
- ・外国において、黄体ホルモン剤（この薬が属するグループ）と卵胞ホルモン剤を併用した場合、その期間が長くなるにしたがって乳がんになる危険性が高くなるとの報告があります。したがって、本剤と卵胞ホルモン剤を併用する場合は、その併用の必要性および注意すべき点等について医師から十分に理解できるまで説明を受けてください。
- ・血栓症（下肢の痛みとはれ、突然息苦しくなる、息切れ、胸の痛み、めまい、意識障害、手足のまひ、急激な視力の低下など）があらわれることがあります。いくつかの症状が同じような時期にあらわれたら使用を中止し、ただちに受診してください。
- ・この薬を中止すると、不安や気分の変化などがあらわれることがあります。医師から使用をやめるよう指示があり中止した際は、不安や気分の変化などに気を付けてください。
- ・眠気やめまいがあらわれることがあるので、自動車の運転など危険を伴う機械の操作には気を付けてください。
- ・授乳している人は医師に相談してください。
- ・他の医師を受診する場合や、薬局などで他の薬を購入する場合は、必ずこの薬を使用していることを医師または薬剤師に伝えてください。

副作用は？

特にご注意いただきたい重大な副作用と、主な自覚症状を記載しました。副作用であれば、いくつかの症状が同じような時期にあらわれることが一般的です。このような場合には、ただちに医師または薬剤師に相談してください。

重大な副作用	主な自覚症状
血栓症 けっせんしょう	ふくらはぎの痛み・腫れ、手足のしびれ、鋭い胸の痛み、突然の息切れ、押しつぶされるような胸の痛み、激しい頭痛、脱力、まひ、めまい、失神、目のかすみ、舌のもつれ、しゃべりにくい

以上の自覚症状を、副作用のあらわれる部位別に並び替えると次のとおりです。
これらの症状に気づいたら、重大な副作用の表をご覧ください。

部位	自覚症状
全身	脱力、まひ
頭部	激しい頭痛、めまい、失神
眼	目のかすみ
口や喉	舌のもつれ、しゃべりにくい
胸部	鋭い胸の痛み、突然の息切れ、押しつぶされるような胸の痛み
手・足	ふくらはぎの痛み・腫れ、手足のしびれ

【この薬の形は？】

PTP シート	 表面 裏面
形状	 軟カプセル
直径	9.0mm
重さ	360mg
色	カプセル本体：淡黄色 内容物：白色
識別コード (PTP シート)	FJ70

【この薬に含まれているのは？】

有効成分	プロゲステロン
添加剤	ヒマワリ油、大豆レシチン
添加剤 (カプセル本体)	ゼラチン、濃グリセリン、酸化チタン

【その他】

●この薬の保管方法は？

- ・光と湿気を避けて室温（1～30℃）で保管してください。
- ・PTPシートのまま付属のアルミチャック袋に入れて保管してください。
- ・子供の手の届かないところに保管してください。

●薬が残ってしまったら？

- ・絶対に他の人に渡してはいけません。
- ・余った場合は、処分方法について薬局や医療機関に相談してください。

【この薬についてのお問い合わせ先は？】

- ・症状、使用方法、副作用などのより詳しい質問がある場合は、主治医や薬剤師にお尋ねください。
- ・一般的な事項に関する質問は下記へお問い合わせください。

製造販売会社：富士製薬工業株式会社 (<https://www.fujipharma.jp/>)

学術情報課

電話番号：0120-956-792

受付時間：9時～17時

（土、日、祝日、その他当社の休業日を除く）